

工学研究科・工学部意見箱回答用紙【31-1】

【タイトル】 計算機等のシステムについて

【意見・要望】

東北大の情報に関するシステムについていくつか要望、質問があります。

1. eduroam の接続の時の証明書が真に東北大のものであることの確認方法が知りたい。
ホームページ上では証明書が確認できるとあるが、その確認方法が明示されていないため不安です。悪意のあるものが eduroam を偽造した時にそれを確認する方法がなく怖いです。

2. なぜ学生の学外からの ssh を制限しているのか

現時点では学生は VERDE Client しか使用できないが、これはとても不安定で複数回試行しないとつながりません。また、動作もとても重く苦痛を感じます。ssh ならば基本は cui ベースになるのでその点は解決すると思います。電気情報物理工学科のシステムも同様です。自宅などで演習室のパソコンのソフトを利用したりしたいのですが工学部はお世辞にも交通の便がよいとは言えず、そのためだけに山を登るのは非効率的です。学外からアクセスするものを整備してほしいです。

3. 教員のマイク使用について

授業の時に教員の声が小さく教室全体に声が届きません。なのでピンマイクなどを配布や貸し出しなどをしてほしい。

4. eduroam から演習室のパソコンへの ssh について

eduroam から ssh で演習室へつなげることができるのは素晴らしいと思います。しかし、サーバーのフィンガープリントを公開していないためそのサーバーが本物である確認ができません。公開をお願いします。

5. istu の活用について

専門の授業で pdf や ppt ファイルを使用するのはとても良いことだが、それを研究室などのページに乗せるだけでなく、istu にもあげてほしい。なぜ istu というシステムがあるのに使用しないのか理解できません。

6. 電気系南講義棟について

電気系の南講義棟の 2 階の 207? 教室へ外から入る階段がとても不安定で恐怖を感じるのになにか対策をしてほしい。

前述の南講義棟への eduroam の入りがとても悪いです。講義資料をダウンロードするのにとても不便です。

7. ソフトのライセンスについて

東北大の授業などで office を利用することが多く、ものによっては word のみの提出のものがあります。これは学生が office のライセンスを所持していなければいけません。経済状況が悪い学生にとってはとても大変です。レポートを作成するために終電間際まで演習室などにこもらなければなりません。これからの研究などで必須なのでライセンスはあったほうが良いという話ではなく、授業に必須なものとして扱う以上大学側がライセンスを整備するのが筋だと思います。オープンライセンスはレイアウトがずれたりするので活用できません。

【改善に向けた具体的提案】

1. eduroam の証明書の公開
2. ssh 制限の緩和もしくは撤廃と演習室のパソコンへの学外からのアクセス方法の整備
3. 教員へのピンマイクなどの貸し出し
4. 工学部の ssh サーバーのフィンガープリントの公開
5. istu をなぜ利用しないのかについての回答
6. 南講義棟への階段へ支柱などの追加と eduroam 電波の改善
7. office など授業で使用するソフトのライセンス取得

投稿内容公開の可否

該当口にチェック

 可 否

【担当部署からの回答】

1. 工学部情報広報室からの回答

- eduroamのフィンガープリントについて

サーバ証明書のフィンガープリント(SHA1) : f1 d9 e2 0a bd 76 99 04 db e4 4d 10 44
b2 91 38 86 ce 80 b9

サーバ証明書のフィンガープリント(SHA256) : af f4 c4 74 ce 01 3e 29 4e 0d 98 28
b4 5d 89 73 eb 39 93 3b 16 4c 24 39 1f bb b3 46 b2 58 aa bb

以下の学内ページ、eduroamの項目「サーバ証明書」の個所にも掲載いただきましたので、ご確認ください。

<https://www2.tains.tohoku.ac.jp/wireless/wireless-lan>

フィンガープリントの確認も重要な点ではございますが、eduroamの偽造が考えられる場合、SSIDの表示欄に「セキュリティ保護あり」という表示がなかったり、初めての接続にも関わらず「証明書の詳細」の確認が無い事、が最初に考えられます。一般的な無線APの接続も含め、無線APを利用する際には、十分に、ご注意いただけますと幸いです。

2. (前半) 教育情報基盤センターからの回答

(後半) 工学部電子情報システム・応物系事務室からの回答

(前半) 情報教育システムにおけるLinux環境の遠隔接続は、その仕様上、SSHによる接続はサポートしておりません。ご不便をおかけしますが、VERDE CLIENTツールからの接続でご利用くださいますよう、お願いいたします。

なお、今後のシステム更新にあたり、学外からの接続性が改善されるよう検討する予定です。

(後半) 演習室についてですが、基本的に青葉山の演習室に来て作業を行っていただきたいという趣旨があります。そのため、基本的に外部からのアクセスを制限しております。ご了承ください。

3. 工学部電子情報システム・応物系事務室からの回答

講義室には、基本的にマイク等の設備があります。可能でしたら、直接、授業担当の教員にお話しいただくか、どの科目についてかご連絡願います。

4. 工学部電子情報システム・応物系事務室からの回答

2.と同様に、基本的に演習室に来て作業を行っていただきたいという趣旨があります。フィンガープリントは演習室の環境で確認してください。

5. 工学部電子情報システム・応物系事務室からの回答

3.と同様ですが、可能でしたら、直接、授業担当の教員にお話しいただくか、どの科目についてかご連絡願います。

6. 工学部電子情報システム・応物系事務室からの回答

南講義棟の2階の207教室への螺旋階段は非常用です。南講義棟中央にある階段を使用願います。

また、講義資料については、授業前にダウンロードをお願いします。

7. 工学部学生支援係からの回答

学部や専攻毎に使用するソフトや教材が異なる中で、大学の授業で使用する有償のものについて、全ての学生へ大学の負担で整備するというのは実質的に難しいと思っております。

officeが使用できるパソコンについては、ご記載いただいた演習室以外にも、工学分館や川内キャンパスの図書館本館にもofficeが利用できるPCがあることを確認しましたので、適宜ご活用ください。

回答部署 工学部情報広報室、工学部電子情報システム・応物系事務室、
教育情報基盤センター、工学部学生支援係

回 答 日 令和元年5月29日